経を養成し、寒さに負けない健康な体をつくる。

②参加対象＝町内小学校五・六年児童。

③実施結果＝参加者が町内一部の地域の児童にかたよってしまったが、全域の児童に経験させたかった。ただ、交通の問題と、指導者の養成が今後の課題である。

(4) 少年スキー教室（五十九年一月二十二日から三月四日まで四回）

①目的＝スキーの初歩的技能を体得させ、冬のくらしに、スキーを通して明るく楽しい体力づくりを経験させる。

②参加対象＝町内小学校五・六年、中学校児童生徒。

③実施結果＝町内ではできない移動教室のため十分時間をとれないのが残念だが、指導者の数を多くし、班員を少なくして指導を受けたので、短時間で予想以上の技能の向上をみることができた。今後は、親の理解と協力を得ながら、一泊二日の日程で実施することを考えている。

昭和58年度

| 内　容 |
|---|
| 生93名 |
| 概要説明 |
| ・金夜間２時間 |
| いて |
| つり、飯盒すいはん |
| トボール |
| バスケットボール |
| 生かなずち対象 |
| トボール |
| 生男女、 |
| =670m |
| 生男子 |
| 町スケートセンター |
| 〃 |
| 〃 |
| 〃 |
| 〃 |
| 場、指導者の養成 |
| ス |
| 者他 |

## 三、事業推進のために配慮したこと

(1) アンケート調査により、児童生徒が希望しているものは何か、その実態を把握して、事業計画を立案した。

(2) 町内には小規模校（小学校）が分散しているので、できるだけ多く交流の場を設定した。（友達づく

初歩からしっかりと